

## 平成28年度 外務省ODA予算の概要

### I. 28年度当初ODA予算

(単位:億円)

	平成27年度		平成28年度	
	当初予算額	伸率	当初予算額	伸率
政府全体	5,422	▲1.5%	5,519	1.8%
うち 外務省	4,238	0.2%	4,342	2.4%
無償資金協力	1,605	▲3.7%	1,629	1.5%
JICA運営費交付金	1,464	▲2.6%	1,490	1.8%
分担金・拠出金	471	9.4%	505	7.1%
援助活動支援等	698	10.8%	718	2.9%

### (参考) 27年度補正ODA予算追加額

(単位:億円)

政府全体	1,704	
うち 外務省	1,664	
【外務省分 主なもの】		
> 難民問題対策を含む人道・テロ対策・社会安定化支援	1,165	> 自然災害や広域感染症等の地球規模課題への対応支援 254
> 国連分担金等	19	
> 産業人材育成及び対日理解促進交流事業	66	> 我が国企業及び地方自治体の海外展開支援事業 25
> 日本製機材の海外展開と投資環境整備	104	> 放送コンテンツ等海外展開支援事業 25

### II. 28年度当初ODA予算の形態別概要

#### > 無償資金協力 1,629億円(+24億円、+1.5%)

- 2016年、我が国はG7議長国、安保理メンバーとなるとともに、次回TICADをアフリカにおいて初開催することから、開発協力(ODA)を積極的かつ戦略的に活用して、国際機関や市民社会等とも連携しつつ、グローバルな課題(防災、保健、女性、テロ対策等)への取組やインフラ整備、人材育成等において「質の高い成長」の実現に向け一層積極的な役割を果たすため、以下の重点事項を中心に所要額を計上。  
⇒平和構築・平和維持・テロ対策 149億円、女性 109億円、開発(防災、保健、教育を含む。) 535億円、環境・気候変動 230億円、「質の高いインフラ」の展開等 539億円

#### > JICA運営費交付金 1,490億円(+26億円、+1.8%)

- 2016年、我が国はG7議長国、安保理メンバーとなるとともに、次回TICADをアフリカにおいて初開催することから、開発協力(ODA)を積極的かつ戦略的に活用して、国際機関や市民社会等とも連携しつつ、グローバルな課題(防災、保健、女性、テロ対策等)への取組やインフラ整備、人材育成等において「質の高い成長」の実現に向け一層積極的な役割を果たすため、以下の重点事項を中心に所要額を計上。  
⇒平和構築・平和維持・テロ対策 88億円、女性 49億円、軍縮・不拡散・原子力の平和的利用 1億円、開発(防災、保健、教育を含む。) 662億円、環境・気候変動 149億円、「質の高いインフラ」の展開等 239億円、産業人材育成 95億円、親日派・知日派の育成とネットワーク強化 17億円

#### > ODA分担金・拠出金 505億円(+34億円、+7.1%)

- 分担金及び義務的拠出金については、国際的な義務を誠実に履行。
- 任意拠出金(総額268億円(+20億円、+8.0%))については、重要外交課題遂行上の有用性等を評価基準とし、定量的・多面的な評価を実施し、評価結果及び必要性等を踏まえ予算にメリハリ付け。  
⇒国連開発計画(UNDP)拠出金コアファンド 70億円(+3億円、+4%)  
⇒国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)拠出金 40億円(+1億円、+4%)

#### > 援助活動支援等

- 在外公館における経費 等